



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ 上場取引所 東
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 松崎 善則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 中澤 健夫 TEL 03-5785-6325
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	35,495	10.4	2,768	10.6	2,999	8.4	1,763	△2.0
2024年3月期第1四半期	32,155	8.4	2,502	35.0	2,766	32.2	1,798	35.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,741百万円(△2.7%) 2024年3月期第1四半期 1,789百万円(44.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	63.90	—
2024年3月期第1四半期	63.48	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	62,992	35,717	56.7	1,294.28
2024年3月期	60,204	35,030	58.2	1,269.38

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 35,717百万円 2024年3月期 35,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	38.00	55.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	17.00	—	38.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	150,000	11.7	7,300	8.3	7,985	6.7	4,145	△15.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	30,213,676株	2024年3月期	30,213,676株
2025年3月期1Q	2,617,586株	2024年3月期	2,617,586株
2025年3月期1Q	27,596,090株	2024年3月期1Q	28,332,007株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかに回復傾向にある一方、原材料価格の高騰や円安による物価上昇の継続と、それに伴う消費者マインドの低下懸念など、先行き不透明な状況も続いています。衣料品小売業界は、原材料高や円安の進行など引き続き厳しい経営環境だったものの、堅調なファッション消費意欲やインバウンド需要の拡大が寄与して底堅く推移しています。

このような状況の下、当社は2033年3月期を最終年度とする長期ビジョン「美しい会社ユニテッドアローズ、真善美を追求し続けることでサステナブルな社会の実現に貢献し、お客様に愛され続ける高付加価値提供グループになる」とともに、その達成を目指して2026年3月期を最終年度とする中期経営計画「感動提供 お客様と深く広く繋がる」を策定し、3つの戦略を推進しています。

2025年3月期は「新しい価値提供を実現する」を経営方針に掲げ、3つの戦略により長期ビジョンと中期経営計画の実現を目指しています。

1つ目のUA CREATIVITY戦略では、既存事業の成長拡大、ブランド力の強化、(株)コーエンの再成長に向けて取り組んでいます。

既存事業の成長拡大では、マーケット特性に最適化させた価格戦略や販売促進活動を行っています。「ユニテッドアローズ」「ビューティー&ユース」を中心とするトレンドマーケットでは、客単価を上げつつ買上客数も増加しており、「グリーンレーベル リラクシング」を中心とするミッド・トレンドマーケットでは客単価は前年水準を維持して買上客数を大幅に増加させています。ミッド・トレンドマーケットではウィメンズで大型販促施策を展開し、新規顧客も獲得しながら売上を拡大させました。

商品クオリティを高めながら積極的な在庫調達も行ったことで、特にネット通販の販売機会ロスを低減させつつ、小売・ネット通販双方の売上成長につなげています。引き続きOMO(*1)施策も推進し、会員売上やクロスユーザー(*2)数などの主要指標が前年同期比で向上しています。加えて、インバウンド需要の拡大も続き、免税売上(単体)は前年同期の約1.6倍となりました。

売上総利益率については、(株)ユニテッドアローズにおいて前年8月に開始した新会員制度と旧会員制度との還元率の差によるマイナス影響が発生したことや、(株)コーエンの在庫評価減などの一時的な要因により、前年同期をわずかに下回りました。

ブランド力の強化については、ブランド価値創造の源泉である従業員のエンゲージメント向上を目指し、従業員の賃上げの実施や教育機会の拡充など各種施策を打ち、従業員のエンゲージメントに関する各種指標の向上に努めています。また、企業ブランドのリブランディングに向けた企画も進行しています。

(株)コーエンは、前連結会計年度に実施したリブランディングやマーチャンダイジングの修正などの効果が徐々に始めています。

(*1) OMO: Online Merges with Offlineの略。オンラインとオフラインの融合を指す。

(*2) クロスユーザー: 実店舗と自社EC双方を利用される顧客様を指す。

2つ目のUA MULTI戦略では、業容拡大に向けた事業開発やグローバル展開の拡大によって、当社の価値提供の領域を広げ、お客様層を拡大させることを目指しています。

新たなお客様層の拡大を目指して、アパレル領域では新ブランドの開発、展開を進めています。若年層に向けたウィメンズの新ブランド「ATTISESSION(アティセッション)」を2024年春にスタートしたことに加えて、高感度な現代女性に向けたウィメンズの新ブランド「conte(コンテ)」の販売を2024年8月に開始します。

アパレル以外の事業については、2024年4月より専門組織を立ち上げ、ライフスタイル領域のさらなる事業開発を推進しています。

グローバル展開の拡大に向けて、タイ・バンコクに初出店したほか、2025年春に予定している中国本土への出店に向けて準備を行っています。

3つ目のUA DIGITAL戦略では、OMOの推進とサプライチェーンの最適化を軸に取り組んでいます。

OMOの推進では、会員制度をより使いやすい仕組みへ改善することで実店舗と自社ECの利用機会を増やすべく一部見直しを実施するほか、自社ECアプリの機能向上に向けた再開発も進めています。

サプライチェーンの最適化では、次期商品管理基幹システムの開発と商品調達のデジタル化に向けて継続して進行しています。

出退店については、トレンドマーケットで1店舗の出店、ミッド・トレンドマーケットで2店舗の出店を実施した結果、当第1四半期連結累計期間末の小売店舗数は197店舗、アウトレットを含む総店舗数は224店舗となりました。

連結子会社の状況については、株式会社コーエン（決算月：1月）、海外子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）ともに増収となりました。出退店については、株式会社コーエンは3店舗の出店により当第1四半期連結累計期間末の店舗数は74店舗、台湾聯合艾諾股份有限公司は1店舗の出店により当第1四半期連結累計期間末の店舗数は10店舗となっています。

以上により、グループ全体での新規出店数は7店舗、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は308店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比10.4%増の35,495百万円となりました。売上総利益は前年同期比9.8%増の19,412百万円となり、売上総利益率は前年同期差0.3ポイント減の54.7%となりました。販売費及び一般管理費は、宣伝販促費の増や賃上げ等に伴う人件費の増、売上増加に伴う変動家賃の増などにより、前年同期比9.7%増の16,644百万円、売上高構成比は前年同期差0.3ポイント減の46.9%となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の営業利益は2,768百万円（前年同期比10.6%増）、経常利益は2,999百万円（前年同期比8.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,763百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2,362百万円(5.9%)増加の42,734百万円となりました。これは、現金及び預金が2,535百万円、商品が72百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が24百万円、未収入金が303百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して425百万円(2.1%)増加の20,257百万円となりました。これは、店舗の出店などにより有形固定資産が68百万円、基幹システム刷新に向けた準備などにより無形固定資産が582百万円、それぞれ増加した一方、繰延税金資産が344百万円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して2,472百万円(11.8%)増加の23,469百万円となりました。これは、短期借入金が2,654百万円、未払法人税が133百万円、一年以内に履行が予定されている資産除去債務が454百万円それぞれ増加した一方、支払手形及び買掛金が1,059百万円、未払金が189百万円、賞与引当金が466百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して371百万円(8.9%)減少の3,805百万円となりました。これは、一年以内に履行を予定している資産除去債務の流動負債への組替により386百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して687百万円(2.0%)増加の35,717百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,763百万円増加した一方、配当金の支払により1,054百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2024年5月8日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,493	9,028
受取手形及び売掛金	117	92
商品	21,175	21,248
貯蔵品	510	567
未収入金	11,164	10,861
その他	910	937
流動資産合計	40,372	42,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,504	3,502
機械及び装置（純額）	563	539
土地	569	569
建設仮勘定	10	42
その他（純額）	366	428
有形固定資産合計	5,014	5,083
無形固定資産		
その他	3,209	3,791
無形固定資産合計	3,209	3,791
投資その他の資産		
差入保証金	6,739	6,848
繰延税金資産	2,127	1,782
その他	2,743	2,752
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	11,607	11,382
固定資産合計	19,831	20,257
資産合計	60,204	62,992
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,590	9,530
電子記録債務	1,342	1,396
短期借入金	202	2,856
未払金	4,348	4,159
未払法人税等	702	835
賞与引当金	1,123	657
役員賞与引当金	23	11
株式給付引当金	2	-
資産除去債務	32	487
その他	2,628	3,536
流動負債合計	20,997	23,469
固定負債		
資産除去債務	4,112	3,725
株式給付引当金	40	55
その他	24	24
固定負債合計	4,177	3,805
負債合計	25,174	27,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,538	4,538
利益剰余金	34,837	35,547
自己株式	△7,069	△7,069
株主資本合計	35,336	36,045
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△306	△328
その他の包括利益累計額合計	△306	△328
純資産合計	35,030	35,717
負債純資産合計	60,204	62,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	32,155	35,495
売上原価	14,477	16,083
売上総利益	17,678	19,412
販売費及び一般管理費	15,176	16,644
営業利益	2,502	2,768
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	114	57
仕入割引	8	-
受取賃貸料	3	3
持分法による投資利益	124	145
その他	29	40
営業外収益合計	280	247
営業外費用		
支払利息	2	1
賃貸費用	3	3
その他	11	11
営業外費用合計	16	17
経常利益	2,766	2,999
特別損失		
固定資産除却損	15	69
減損損失	19	125
特別損失合計	34	194
税金等調整前四半期純利益	2,731	2,804
法人税、住民税及び事業税	167	695
法人税等調整額	765	344
法人税等合計	933	1,040
四半期純利益	1,798	1,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,798	1,763

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,798	1,763
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9	△22
その他の包括利益合計	△9	△22
四半期包括利益	1,789	1,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,789	1,741
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,731	2,804
減価償却費	213	386
無形固定資産償却費	96	116
長期前払費用償却額	165	185
減損損失	19	125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,354	△466
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	-
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	2	1
売上債権の増減額 (△は増加)	651	338
棚卸資産の増減額 (△は増加)	266	△124
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△624	△37
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,272	△1,007
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△755	449
持分法による投資損益 (△は益)	△124	△145
その他	14	△143
小計	△5	2,470
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2	△1
移転補償金の受取額	-	136
法人税等の支払額	△1,033	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	2,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△434	△444
資産除去債務の履行による支出	△49	△9
無形固定資産の取得による支出	△309	△656
長期前払費用の取得による支出	△71	△72
差入保証金の差入による支出	△33	△114
差入保証金の回収による収入	79	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△818	△1,292
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△344	2,654
自己株式の取得による支出	△1,311	-
配当金の支払額	△925	△983
その他	△1	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,582	1,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,451	2,530
現金及び現金同等物の期首残高	8,562	6,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,111	9,017

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。